

有松の秋の例祭に行ってきました！

10月7日（日）突き抜けるような秋晴れの青空の中、有松天満社の祭礼に行ってきました。歴史的な町並みが残る旧東海道の、東町・中町・西町から3輦の山車が曳き出されます。



西町・中町と順に山車が出発し、東町の山車を加え、茶屋集落であった有松の東端である松

之根橋で、大きな見せ場である山車の回転が、順次、行われます。絞りの半被を来た若い衆が、力の限りで回転させる様は、非常に見ごたえがあり、感動的でさえありました。有松の町並みを背景に、絞りを着た若者が、ダイナミックに山車を回転する様は、歴史的な町並みと文化・営みの、極上のハーモニーともいえます。



有松地区は、県指定文化財の服部家、市指定文化財の竹田家など、多数の文化財を含む豪壮な歴史的な商家が特徴の町並みです。町並みの様子は、広重の東海道五十三次の浮世絵からも伺いしれますが、旧東海道の無電柱化の工事も進み、空が広くなり、その歴史的景観が今も大切にされています。地元の人たちのプライドも感じられます。

有松では、6月初旬にも絞り祭りが盛大に行われますが、10月の第一日曜日に行われる例祭も見ごたえたっぷりです。来年、足を運んでみてはいかがでしょうか♪

(TAMA)